

平成二十八年 度前期 選抜学 力検査

国 語

(十時～十時四十五分、四十五分間)

問 題 用 紙

- 意**
- 一、「開始」の合図があるまで開いてはいけません。
 - 二、答えは、すべて**解答用紙**に書きなさい。
 - 三、問題は、**1** から **3** までで、**六** ページにわたって印刷してあります。

なお、問題用紙のほかに**別紙**があります。

- 注**
- 四、「開始」の合図で、**解答用紙**の決められた欄に**受検番号**を書きなさい。
 - 五、問題を読むとき、声を出してはいけません。
 - 六、「終了」の合図で、すぐに筆記用具を置きなさい。

1

次の(一)～(六)の各問いに答えなさい。(二十点)

(一) 次の①～⑥の文の傍線部分について、漢字は読みをひらがなで書き、ひらがなは漢字に直しなさい。

① 大豆から油を搾る。 ② 時雨が通り過ぎる。

③ 機械の作動を潤滑にする。 ④ 映画のはいやくが決まる。

⑤ 水滴が飛びちる。 ⑥ せきにんを果たす。

(二) 次の①、②の各組の傍線部分の語のうち、用法・はたらきが他の三つと異なるものを、それぞれ次のア～エの中から一つずつ選び、その記号を書きなさい。

① ア、工事中だったが、ついに完成した。
イ、今日はいいい天気だが、風は冷たい。
ウ、電話をかけたが、だれも出なかった。
エ、野球の観戦が、私の楽しみの一つだ。

② ア、色とりどりの花がきれいだ。
イ、明日は学校の創立記念日だ。
ウ、僕が読みたいのはこの本だ。
エ、壁に掛けてある絵は妹のだ。

(三) 敬語には、尊敬語、謙譲語、丁寧語の三種類がある。次の①～④の文の傍線部分に用いられている敬語は、それぞれあとのア～ウのどれに当たるか、あとのア～ウの中から最も適当なものを一つずつ選び、その記号を書きなさい。

① 彼は私の学級の放送委員です。 ② 貴社までの行き方を教えてください。

③ 来賓を体育館にご案内する。 ④ ご参加の方には粗品を差し上げます。

ア、尊敬語 イ、謙譲語
ウ、丁寧語

(四) 次の古文の傍線部分を現代仮名遣いに改め、すべてひらがなで書きなさい。

物しれる人の見侍らば、さまざまの境にもおもひなぞらふるべし。
(「笈の小文」による。)

(五) 次のAの文には、仮名遣いの誤っているところが一か所ある。仮名遣いの誤っている部分を、あとの(例)にならって一文節で抜き出し、正しい仮名遣いに直しなさい。

A 弟は、時間どおりに帰宅し、部屋の片づけをしたあと、私の手づくりのケーキをほお張りしました。

(例)

コップの中のこうりが溶けて、水になった。

こうりが ↓ こおりが

(六) 次の短歌と【鑑賞文】を読んで、あとの①、②の各問いに答えなさい。

(短歌)

小塩 卓哉

【鑑賞文】

(鑑賞文)

(注) 詠嘆 —— 感動を声や言葉に表したもの。

(俵 万智『三十一文字のパレット2』による。)

① 【鑑賞文】の中のAに当てはまる言葉を、短歌の中から八字で抜き出して書きなさい。

② この短歌の傍線部分「卵とは争うことを知らぬ形よ」とあるが、【鑑賞文】の中では、短歌の作者は卵の形を見つめながら、どのようなことを連想しているか、【鑑賞文】の中の言葉を使って書きなさい。

(次のページへ) ←

別紙の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。(十八点)

(一) 傍線部分(1)「最適なものによって変わった」を組み立てている単語の品詞の並び順として、次の中から最も適切なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、形容詞／名詞／助詞／動詞／助詞／助詞
 イ、形容詞／名詞／助詞／動詞／助詞／動詞／助動詞
 ウ、形容動詞／名詞／助詞／動詞／助詞／動詞／助詞
 エ、形容動詞／名詞／助詞／動詞／助詞／動詞／助動詞

(二) 傍線部分(2)「体を生活環境に最適化し」とあるが、哺乳類の体は、生活環境にどのように最適化したのか、コウモリの仲間の場合について、本文中の言葉を使って、十字以上二十字以内で書きなさい。(句読点も一字に数える。)

(三) 傍線部分(3)「メガネザルなどは夜行性ということもあり、特に目が大きくなっている」とあるが、メガネザルなどは夜行性ということもあり、特に目が大きくなっているのはなぜか、その理由を、本文中の言葉を使って書きなさい。

(四) 傍線部分(4)「変遷」と熟語の構成が同じものはどれか、次の中から最も適切なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、除草 イ、巧拙 ウ、裕福 エ、公園 オ、雷鳴

(五) 文中の **A** に当てはまる言葉として、次の中から最も適切なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、しかし イ、つまり ウ、なぜなら エ、だから

(六) 文中の B に当てはまる言葉として、次の中から最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、地上を直立で歩行するようになった
- イ、頭上の木々で生活するようになった
- ウ、前足と後ろ足に分かれるようになった
- エ、世界中で文明社会を築くようになった

(七) **傍線部分**(5)「ヒトとほかの霊長類との決定的な違いになった」とあるが、ヒトとほかの霊長類との決定的な違いとはどのようなことか、ヒトとチンパンジーとの手の場合について、本文中の言葉を使って、五十字以上六十字以内で書きなさい。(句読点も一字に数える。)

(次のページへ) ←

中学生のまどかさんは、総合的な学習の時間に「日本の科学技術」をテーマにして調べたことを発表することになり、次の【発表原稿】、【資料A】、【資料B】、【資料C】を作成した。これらを読んで、あとの各問いに答えなさい。(十二点)

私は、重要科学技術史資料について調べてみました。

重要科学技術史資料とは、国立科学博物館が平成二十年度から開始した【資料A】の制度によって登録された、日本の発明や開発品を指します。近年、科学技術の急速な発展、技術革新や産業構造の変化により、日本の発明や開発品の中には、その存在の重要さが薄れ、急速に失われようとしているものがあります。そこで、これらの保存を図るとともに、科学技術の発展にかかわってきた先人たちの経験を次世代に継承していくことを目的として、重要科学技術史資料の登録制度が設けられました。国立科学博物館では、「科学技術の発達史上重要な成果を示し、次世代に継承していく上で重要な意義を持つもの」や「国民生活、経済、社会、文化の在り方に顕著な影響を与えたもの」を基準に選定し、重要科学技術史資料として登録しています。

平成二十七年九月一日現在、重要科学技術史資料として、明治時代から平成十四年までに製作された、二百九件が登録されています。例えば、【資料B】の0系新幹線電車です。この電車は、昭和三十九年十月の東海道新幹線の開通当時、世界最高速の実用走行が可能で、高速鉄道の代名詞になりました。私の祖父は、初めてこの電車に乗ったとき、その速さが、それまで乗ったことのある電車と全く違っていたことに大変驚いたと、話してくれました。他にも、私が生まれた平成十二年に製作された、【資料C】のカメラ付き携帯電話も登録されています。これは、現在では、当たり前になっっているカメラ付き携帯電話のさきがけとなったものです。

今日、科学技術は、日々進歩しています。【資料C】のカメラ付き携帯電話が、製作から十四年後には重要科学技術史資料として登録されていることから、現在、私たちが日常生活で使っている製品の中にも、十数年後には、重要科学技術史資料として登録されるものがあると思います。また、十数年後には、現在、研究・開発中の科学技術が、私たちの日常生活に大きな影響を与えているとも思います。

私は、将来、科学技術の研究・開発に携わる仕事に就き、私たちの社会が抱える様々な課題を解決することで、社会の発展に貢献したいです。

＜重要科学技術史資料の登録制度＞

重要科学技術史資料の登録制度の開始年度

- 平成20年度

重要科学技術史資料の登録制度の ①

- 存在の重要さが薄れ、急速に失われようとしている日本の発明や開発品の保存を図る。
- 科学技術の発展にかかわってきた先人たちの経験を次世代に継承する。

重要科学技術史資料の選定基準

- 科学技術の発達史上重要な成果を示し、次世代に継承していく上で重要な意義を持つもの。
- 国民生活、経済、社会、文化の在り方に顕著な影響を与えたもの。

0系新幹線電車



(写真)

(産業技術史資料情報センターWebページによる。)

カメラ付き携帯電話



(写真)

(産業技術史資料情報センターWebページによる。)

(一) 【資料A】の中の①に当てはまる言葉を、【発表原稿】の中から二字で抜き出して書きなさい。

(二) 次の【メモ】は、まどかさんが、【資料C】のカメラ付き携帯電話が、重要科学技術史資料として登録されていることについて、思ったことをまとめたものである。【メモ】の中の②に当てはまる言葉を、【発表原稿】の中の言葉を使って、二十字以上三十字以内で書きなさい。(句読点も一字に数える。)

【メモ】

○ 日常生活で使っている製品の中にも、十数年後には、
○ 十数年後には、現在、研究・開発中の科学技術が、私たちの日常生活に大きな影響を与えている。

(三) 【発表原稿】の中に二重傍線部分「科学技術が、私たちの日常生活に大きな影響を与えている」とあるが、あなたが考える、私たちの日常生活に影響を与えている科学技術の一つ取り上げ、その科学技術の長所と短所について明らかにし、あなたの考えや意見を、あとの「作文の注意」にしたがって書きなさい。

〔作文の注意〕

- ① 題名は書かずに本文から書き出しなさい。
- ② あなたの考えや意見と、その根拠を明確にして書きなさい。
- ③ あなたの考えや意見が的確に伝わるように書きなさい。
- ④ 原稿用紙の使い方が正しい、全体を三百字以上四百字以内にまとめなさい。

— おわり —